

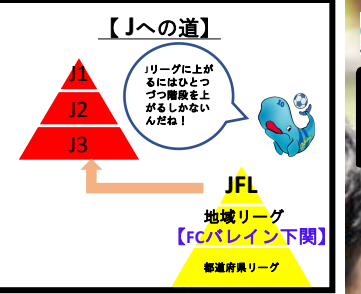
2019中国サッカーリーグ順位

順位	チーム名	試合数	勝点	得失点
1	三菱水島	9	25	30
2	SRC広島	9	23	19
3	IPU環太平洋大学FC	9	21	7
4	FCバレイン下関	9	16	7
5	JXエネルギーT0水島	9	12	1
6	富士ゼロックス広島	9	10	-8
7	NTN岡山	9	7	-3
8	浜田FCコスモス	9	7	-14
9	廿日市FC	9	5	-9
10	原田鋼業	9	3	-30

2019年7月7日現在

中国リーグ得点ランキング

1	宮澤 龍二	三菱	15
2	高瀬 翔太	三菱	7
2	前原 翼	SRC	7
4	岩村 勝利	下関	6
4	林 遥	SRC	6
4	炭廣 翔	SRC	6



【サイン入りボールをGETせよ!】  
試合開始前にスタメン選手11名がサイン入りミニボールを観客席へ投げ入れます。  
是非、お気に入りの選手のボールをゲットして下さい!

三菱水島FCチーム紹介

現在無敗で首位を独走する中国リーグの強豪。2005~2008年JFL在籍と中国リーグ5度の優勝経験を持ち、2016年度の成年国体では岡山県代表として出場し全国優勝を果たしている。中国リーグから巣立ったレノファ山口(J2)・松江シティ(JFL)とも常に覇権を争い合ってきたその実力は「中国リーグの門番」と言っても過言ではない。この壁を越えずしてバレインの昇格は見えてこそ、シーズン成績では2戦連続で1-4と苦杯を嘗めさせているだけに、この1戦が今後のバレインを占う意味での重要な分岐点になり、ホームの地でその真価が問われる。

【昨年度成績】  
中国サッカーリーグ  
2位 (10勝6敗2分)  
【過去対戦】  
●1-4



クラブ新グッズ販売開始!!

①2019シーズンTシャツ

②選手ネーム&番号入りキーホルダー

数に限りがございます。お早めにブースにてお求め下さい。その他新商品についても近日公開予定!!

バレイン選手が直接指導!!

バレイン選手が直接指導する

サッカー塾  
KOTAサッカーラボ  
対象年齢 年中~中学生

スポーツ教室  
忍者ナイン  
対象年齢 年少~小4

ブースにて資料をご用意しています。ご興味のある方はお尋ねください。

【今節の見どころ】

林 岩村  
田原 霜出  
佐久間 橋本  
孫 安片 (CAP)  
須子 吉沢  
西川

今節はFWの森本が果敢で出場停止となる為、厳しい闘いが予想される。三菱自動車水島FCとは今シーズン2度対戦しているが、2試合とも「1-4」のスコアで完敗を喫している。今節は過去2戦と闘い方を変え4バックを採用する可能性が高い。林、岩村の2FWに、前節の浜田戦で途中出場ながら全2得点を演出した霜出が得意な右サイドでの先発が濃厚。今節力ギを握るのはCBの位置に入ることが予想される吉沢・須子の両CB。三菱水島FCのFW、No.10宮澤・No.11高瀬は2人だけで、9試合22得点15アシストを記録しており、中国リーグでは順一つ抜けた強力2トップ。須子・吉沢がこの2人にしっかりと対応できなければ大量失点に繋がる可能性は高い。攻撃ではミドルレンジからのシュートがポイントになるだろう。橋本・田原・佐久間はミドルレンジからのシュートを得意としており、積極的にシュートを打ち相手DF陣を前におびきよせることで、岩村・林・霜出がゴールを狙える位置でプレーする機会を増やしゴールに迫りたい。

予想スタメン

【ファミリーブルー募集開始】

ファミリーブルー(個人サポーター会員)の受付を開始いたしました。「ファミリー」とはフランス語で「家族」の意。是非、ご入会お願いいたします。

金額: 3000円  
期間: 入金日~2020年1月31日まで

特典内容:  
①クラブ2019オリジナルピンバッジ  
②会員証  
③ファン感謝祭、お楽しみ抽選会参加権  
④クラブグッズ会員割引

スタンド入口横、クラブブースにて受付を行っております。

FCバレイン下関サポーターグループ 応援チャント集

青鯨団 (ブルーホエールズ)

さあゆこう! さあ ゆこう 下関

荒波チャント  
今こそ見せるよ 荒波乗り継ぎ オー...

2019シーズン新チャント  
どんな困難も乗り継ぎようという思いが込められています

次のステージへ さあ ゆこう 次のステージへともに戦おう 俺たち下関

選手・サポーター共に闘おうというメッセージを込めて歌おう

バレインGO  
バレイン下関 GO ゆくぞバレイン 俺たちと共にゲットゴール

ゴールを決めてくれと言う願いを込めて歌おう

パッパッバレイン  
パッパッバレインGO!GO!  
ラ〜ラ〜ラ〜ラ〜ラ〜

原曲は「しるもん体操」CK、FKなどのチャンスの時に歌おう

下関! オー 下関! バレイン バレイン 下関

お馴染みのメロディ♪ 1番よく使われるチャントです

バレイン選手オリジナルラベルのイタリヤンソーダ登場!!

クラブメンスポンサーの株式会社日本セレモニー様がブース初出店!!  
長年イタリアで愛されている炭酸飲料、その名も「ブルーイタリー」

暑い夏にピッタリの爽やかなフレーバーと炭酸のどろけがクセになる選手一押しのスパーリングソーダです。パステルカラーのスタイリッシュなドリンクが限定選手オリジナルラベルで登場!!

※ノンアルコール飲料です。

写真:  
左: ピンクグレープフルーツソーダ  
中: シチリアアンレモンソーダ  
右: シチリアンブラッドオレンジソーダ

次回ホームゲームお知らせ

2019年7月21日(日) 10:00KICK OFF  
VS IPU環太平洋大学FC  
乃木浜総合公園(天然芝グラウンド)

SHIMONOSEKI Baleine VS MITSUBISHI MOTORS MIZUSHIMA F.C. 三菱自動車水島FC

2019/7/7 乃木浜総合公園 10:00KICK OFF



～ゴールという形で～



9試合6ゴール3アシスト。  
シーズン開幕直前に加入し、獅子奮迅の活躍を見せる背番号39岩村勝利の現在のゴール、アシスト数だ。

福岡県北九州市生まれの23歳。  
シーズン開幕の3週間前に入団が決まったにも関わらず、瞬く間にFWのポジションを掴み、チームトップスコアラーとして、開幕から攻撃陣を牽引している。

岩村は地元北九州市若松区にある若松スポーツ少年団でサッカーを始める。  
小学校卒業後は鹿島アントラーズ、そして日本代表としても活躍した地元若松区出身の元リーガー本田 泰人氏が立ち上げたサッカークラブ「FUT 6(フットセイス)」で元プロサッカー選手からサッカー選手に必要な技術を徹底的に叩きこまれ、中学3年時に岩村の元には高校サッカーの名門福岡高校を筆頭に、オファーが多数届くまでに成長していた。

数あるオファーの中から岩村が選択したのは静岡県にある高校サッカーの古豪として知られる「東海大学付属岡野高校」への越境入学だった。

「親元を離れ、県外の高校で技術を磨くことが成長に繋がると思いました。そして、全国を勝つよりも県内を勝つことの方が難しいとも言われるサッカー王国静岡にも魅力を感じました」

中学時代はMFも務めていた岩村だったが、高校入学後は当時の監督にFWへの固定を勧められ、1年生ながら試合に起用され、最終学年となる3年生時には並み居る強豪校を打ち破り静岡県代表としてインターハイに出場。

サッカー一途高校で3年間主力として活躍した岩村は更なるレベルアップを目指すべく関東圏内の大学への進学を模索する中、九州産業大学からオファーが届く。

「九州産業大学が最近強くなってきていることは知っていました。もちろん、関東や関西圏内の大学で勝負したい気持ちもありましたが、九州産業大学からお話を聞かせていただく中で、地元福岡県でもありますが、九州産業大学への進学の気持ちが強くなっていました。でも正直一番は両親へ金銭的に負担をかけたくなかったです。高校時代も含めて両親にはかなり負担を掛けたと思うので。」

そして九州産業大学の門を叩いた岩村は、高校時代同様1年時から試合に起用され、全国大会にも出場する。

転機となったのは大学3年時だった。  
ツエーゲン金沢 (J2) を指揮した森下氏 (現FCバレイン監督) が九州産業大学監督に就任することが決定。プロを指揮した監督からの指導を大学在学中に受けられることとなった。  
「森さんが来て良い意味でサッカーが一変しました。考えが動く、ボールをしっかりと繋ぎながらゴールを目指すサッカーでした。僕は感覚でやっていたことも多かったのですが、動きの部分でかなり細かい指導を受けました。ただ動くな、考えが動くと、森さんからは口癖っぽく言われましたね (笑) トレーニングメニューも豊富で全てが新鮮で、選手達も生き生きとプレーしていたと思います。」

森下氏の指導のもと、就任1年目にして二つの全国大会 (夏のインカレ・冬の総理大臣杯) へ九州代表として出場するなど、岩村だけではなく部員全員が自覚ましい成長を続けた。

「正直、負ける気がしないってこのことかと思いました (笑) 福岡大学 (福岡県)、鹿屋体育大学 (鹿児島) なんかもメンバー的にも負けつけない戦力でしたが、そういつた大学を押し抜ける九州チャンピオンでしたから嬉しかったし、自信にもなりました。僕自身もプレーの幅が広がり、自信を持ってプレーできるようになったと思っています。」

**Profile**  
岩村 勝利 (いわむら しょうり)  
1996年6月5日生  
福岡県北九州市出身  
東海大学付属翔洋高等学校～  
九州産業大学～FCバレイン下関  
利き足が分からない程、左右両足同レベルで練り出されるシュートは一級品。  
現在、6得点3アシストとゴール、アシスト共にチーム内トップの数字を叩き出し、攻撃陣を牽引する

そうした功績も認められた森下氏の元へ、ギラフツボ北九州 (J3) からオファーが届き、森下監督の指導はわずか1シーズンで幕を閉じることとなる。  
「結構電撃的に決まったので正直びっくりしましたけど、正直プロから引退後でもおもしろくない監督だったし、そんな監督から1シーズンでも指導を受けたら自分にとって大きかったですね。欲を言えばまだまだ教えてもらいたいことが沢山ありましたけど。ただ、森さんに指導してもらったことを生かして、まだまだレベルアップしないといけないと感じました。」と、当時のことを懐かしうそに話してくれた。

最終学年を迎え、チームの主力としてプレーする岩村は大学卒業後の進路を当時の監督に相談する。  
「僕は大学卒業後もサッカーを続けようと思っています。プロ契約を結んでくれるチームないでしょうか」  
岩村からのサッカーでご飯を食べて行きたいとの率直な思いを聞いた監督は、FCマルヤス岡崎 (JFL) への練習参加を勧め、岩村は練習生として参加することになった。

「FCマルヤス岡崎はほぼ全員プロ契約を締結し、サッカーに専念するには申し分ない環境でした。」  
岩村の言葉通り、FCマルヤス岡崎は、元リーガーや外国人選手、リーグの舞台へステップアップしようとしている若手など高いレベルの選手が多数在籍していた。

その選手達を相手に来シーズンの契約を掴み取るべく必死にアピールを続けた結果、FCマルヤス岡崎からプロ契約の提示を受けた。  
「思った以上に手ごたえを感じました。全然やれるなって、もちろん上手くいかない部分もありましたが、それ以上に手ごたえを感じた練習参加でした」

実力で卒業後のプロ契約を掴み取った岩村だったが、個人的な事情で3月に大学を卒業できないことが判明し、マルヤス入団の話は白紙となる。  
「恥ずかしい話ながら、単位が足りずに卒業が翌年の9月になりました。せっかくマルヤスさんからありがたいお話をいただいたのに情けなかつたです。」  
目標としていたプロ契約が目の前で白紙となった岩村の元へ、恩師森下氏の動向の知らせが入る。

「当時の監督から森下さんがFCバレイン下関の監督になって選手を探していることを聞きました。すぐに森下さんに連絡し、福岡代表とも電話で話して練習参加することが決まりました。僕自身、地域リーグと言う存在自体あまり知らなかったですが、実際にトレーニングに参加すると、選手個々の技術の高さ、そして真刺しを目指しているクラブだと肌で感じましたね。ここでプレーしてしっかりと結果を出したいと強く思いました。」  
岩村は当時の不安を思い出すようにバレイン入団の経緯を語ってくれた。

現在のチーム状況、そして個人としての手ごたえを岩村はどう感じているのか聞いてみた。  
「ようやくみんなの特徴が分かって出て、少ずつですが良い連携も出せるようになってきました。完成度としてはまだまだですね。個人としても全く満足していません。サッカーで将来お金を稼ぐなら、このリーグで無敵できるぐらいの活躍をしないといけないと感じています。ただ、決してリーグのレベルは低くないとも感じています。その中で個人としてもチームとしても、もっと結果にこだわっていきたくて思っています」

そして岩村には、自身を奮い立たせる2つの存在がある。  
「両親ですね。僕は大学にまだ通っている。現在はまだ北九州市に住んでいます。免許が取れないので毎日のトレーニングの送り迎えは両親がやってくれていますし、岡山だろが鳥橋だろが毎回試合会場に応援に来てくれています。恥ずかしくて面と向かっては言えませんがもう本当に感謝しかないですね」

「そしてサポーターの皆様です。あれだけ多くの方が会場に足を運んでくれて応援してくれる環境には正直びっくりしました。地域リーグだから50人ぐらいかなと思ってたんで (笑) あのスタンドの光景を見たら一気に気持ちが高まるので、もっともっと頑張らないとって思っていますね」

サポーターの応援を背に闘える誇り、そして親への感謝の気持ちに胸に、「ゴール」と言う形で返したいと岩村ははっきりとした口調で答えてくれた。  
名物となりつつある岩村のゴールパフォーマンス「逆ガッツポーズ」を今日も期待せずにはいられない。

<b>監督</b> 森下 仁志 1967/12/9 静岡県出身 ★ゼライセンス所有	<b>N#1 GK</b> 西川 亮 (にしがわ ありあ) 1986/5/23 187cm/88kg 広島県出身	<b>N#2 DF</b> 吉沢 清太郎 (よしざわ しみず) 1993/11/23 175cm/68kg 鹿児島県出身	<b>N#3 MF</b> 長 宏輔 (なが ひろみ) 1993/11/27 158cm/60kg 広島県出身	<b>N#4 MF</b> 中川 心平 (なかがわ しんぺい) 1993/1/7 169cm/60kg 山口市出身	<b>N#5 DF</b> 須子 彌太郎 (すこ ことたろう) 1993/1/6 173cm/70kg 宇部市出身	<b>N#6 DF</b> 沖田 康佑 (おきただ こうすけ) 1992/1/13 171cm/65kg 宇部市出身	<b>N#7 MF</b> 孫 正倫 (まへら しょうりん) 1991/9/18 174cm/68kg ★下関市出身
<b>N#8 DF</b> 竹田 祐昭 (たけだ ゆうしょう) 1985/5/29 174cm/64kg ★下関市出身	<b>N#9 MF</b> 山本 盾 (やまもと けん) 1996/9/11 163cm/58kg 山口市出身	<b>N#10 FW</b> 森本 惟人 (もりもと ことひと) 1992/2/9 172cm/66kg ★下関市出身	<b>N#11 MF</b> 前田 昇吾 (まえだ しょうご) 1988/11/11 172cm/68kg ★下関市出身	<b>N#14 MF</b> 佐久間 大樹 (さくま だいき) 1987/6/7 180cm/80kg 東京都出身	<b>N#15 FW</b> 鈴木 雄大 (すずき ゆうだい) 2000/7/4 175cm/69kg 福岡県出身	<b>N#16 MF</b> 五月女 涼 (ごもつめ りょう) 1995/6/13 165cm/60kg 福岡県出身	<b>N#18 MF</b> 馬越 俊樹 (まごし とし樹) 1997/12/7 170cm/64kg 愛媛県出身
<b>N#19 DF</b> 法龍院 宏佑 (ほうりゅういん ひろゆう) 2000/5/9 161cm/62kg 山口市出身	<b>N#20 FW</b> 東條 翔太 (とうじょう しょうた) 1991/12/28 174cm/63kg ★下関市出身	<b>N#22 MF</b> 田原 伊織 (たはら いおり) 1996/12/12 168cm/68kg 福岡県出身	<b>N#23 MF</b> 猪本 直家 (いのもと なおき) 1995/3/21 165cm/59kg 熊本県出身	<b>N#24 MF</b> 安片 政人 (やすかた まさひと) 1993/4/20 172cm/66kg 熊本県出身	<b>N#25 DF</b> 清水 辰之輔 (しみず たけのすけ) 2000年12月28日 169cm/67kg 防府市出身	<b>N#27 MF</b> 橋本 郁那 (はしもと なるな) 1996/8/3 166cm/62kg 熊本県出身	<b>N#28 MF</b> 大賀 優将 (おが ゆうしょう) 1993/9/9 165cm/65kg ★下関市出身
<b>N#30 FW</b> 齋出 優斗 (さいで ゆうと) 1997/7/1 164cm/64kg 鹿児島県出身	<b>N#32 MF</b> 林 慎太郎 (はやし しんたろう) 1996/4/26 171cm/64kg 熊本県出身	<b>N#33 GK</b> 大枝 正和 (おおえだ しょうわ) 1989/7/5 178cm/68kg 山口市出身	<b>N#39 FW</b> 岩村 勝利 (いわむら しょうり) 1996/6/5 173cm/73kg 福岡県出身	<b>N#40 MF</b> 道崎 謙人 (みちさき けんじん) 1998/12/11 168cm/62kg 山崎小野田市出身			

第8節試合結果

第47回中国サッカーリーグ/第8節 HOME  
6月23日 (日) 13:00 乃木浜総合公園  
FCバレイン下関 2-0 NTN岡山

**【選手交代】**  
岩村 林 田原  
孫 安片  
(CAP) 長 橋木  
須子 沖田  
西川

33分: 沖田 → 佐久間  
HT : 長 → 森本  
78分: 安片 → 霜出

**【得点】**  
83分: 橋木 (佐久間)  
88分: 森本 (岩村)

怪我の中川に代わり、長が先発に復帰した以外は快勝した廿日市戦と同様のメンバーで臨んだNTN戦。試合開始からシュートまで持ち込むものの、幾つか訪れた決定機を生かせず前半を終える。後半開始より、怪我から復帰した森本を投入するがゴールを奪えないまま時間が過ぎていく。そんな嫌な状況を前節スーパーゴールを決めた橋木が打ち破る。佐久間からの縦パスをミドルシュート一閃。GKも一歩も動けない見事なシュートで先制ゴールを奪う。88分に森本がダメ押し点を奪いホーム3連勝を飾った。

第9節試合結果

第47回中国サッカーリーグ/第9節 AWAY  
6月30日 (日) 13:00 鳥根県立サッカー場  
FCバレイン下関 2-2 浜田FCコスモス

**【選手交代】**  
森本 林 岩  
村 田原 橋木  
(CAP) 須子 沖田  
吉沢 西川

HT: 安片→霜出  
80分: 森本→佐久間

**【得点 (アシスト)】**  
52分: 岩村 (霜出)  
55分: 橋木

対戦相手の浜田は試合開始からFW2人以外を全員自陣に下がらせ、徹底的にカウンター攻撃を狙うも、バレインDF陣が落ち着いて対応。対するバレインはボール保持率の高いものの、パス回りに終始し、チャンスらしいチャンスも作れない。前半終了かと思われた44分にはカウンターから先制点を奪われ嫌な雰囲気の前半を終える。後半から霜出を投入し、システムも4バックに変更したことで逆転に成功する。しかし74分にFKから一瞬の隙をつかれ同点に追いつかれる。再逆転を目指しゴールを目指すも得点を奪えずにタイムアップ。バレインにとっては奇跡的な勝ち点1となった。